

今年もフクロウのヒナが孵(かえ)りました！ ～フクロウのヒナが処分場敷地内の巣箱で成長中～

東京たま広域資源循環組合（管理者：立川市長清水庄平）では、3月7日、フクロウが谷戸沢処分場に営巣したことをお伝えしましたが、4月4日に2羽のヒナを確認しましたので、お知らせします。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



ヒナを眺めるメスのフクロウ（写真上）と真っ白な2羽のヒナ（写真下）の様子【4月4日撮影】

現在、フクロウは巣箱の中で子育てを行っております。5月上旬ごろには、ヒナの巣立つ姿を見ることができると考えられます。今後は、フクロウの子育て状況を温かく見守ってまいります。この子育て状況については、ヒナの巣立ちまで、逐次、循環組合のホームページに写真を掲載していきます。（ただし、アライグマなどに襲われ、営巣を放棄する可能性もあります。）

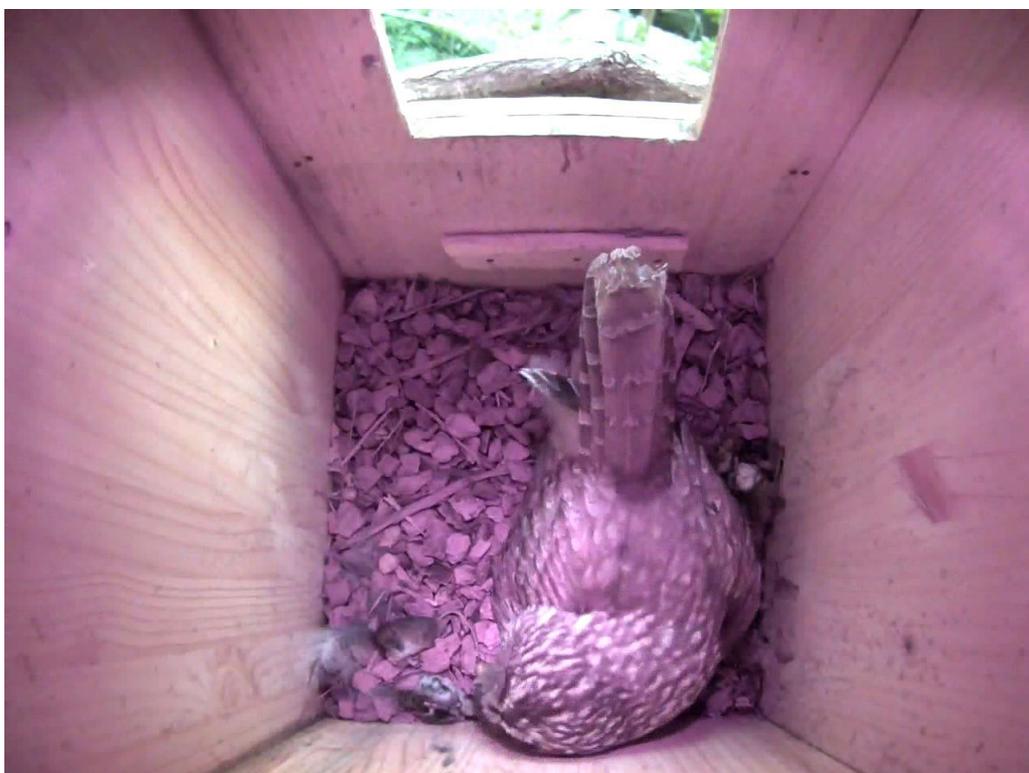
◆ 循環組合ホームページ：<http://www.tama-junkankumiai.com/>



巣箱内でのフクロウの様子



2羽のヒナ（写真中央右下）【4月8日撮影】
（左のヒナは写真左上向きにうつ伏せ、右のヒナは写真左を向いている状態。）



小さく裂いたエサをくわえるメス【4月5日撮影】
（巣箱内左下には、エサのネズミや小鳥が横たわっている。）